

序

この報告書は、（公財）中部産業・労働政策研究会が第14期（2024年9月～2025年8月）に行なった年度調査研究「中堅・中小企業の現状と課題および今後の方向性II～自動車業界におけるサプライチェーンの視点から～」についてまとめたものです。本調査研究は、第13期に実施した「中堅・中小企業の現状と課題および今後の方向性」の研究結果を受け、直近の事業運営の変化や法改正等の状況、また特に深刻な人材確保や人材育成面等の現状把握とその対応策等の発信が喫緊の課題と判断し、テーマを継続して活動してまいりました。

中堅および中小の企業においては、顧客やサプライヤー間の連携等の困り事の解決もまだ道半ばの部分があり、弊財団賛助会員企業の関係部署および豊田市雇用対策協会のご協力を引き続きいただき、新たな中堅および中小の企業に対して、人材関係や事業運営面等の最新の困り事や問題認識の現状等をヒアリング（インタビュー）調査し、懸案事項の現状を把握し対応策の検討および考察を通して、今後の方針や取り組み等を提言として発信することを目的といたしました。本報告書が各企業の労使の方々にとって、これから対策検討の一助になれば幸いです。

報告書の作成にあたっては、第13期から引き続き研究主査をお務めいただいた立教大学の遠山恭司教授、中京大学の弘中史子教授、そして新たに中央大学の宇山翠助教をお迎えし、多大なるご尽力をいただきました。また、ヒアリング調査にあたっては、各企業の方々に大変お忙しいところお時間をいただきご協力をたまわりました。この場をお借りして、皆さまに心から厚く御礼申し上げます。

2025年12月

公益財団法人 中部産業・労働政策研究会

理事長 鶴岡 光行